



建築物総合環境計画概要書 新築

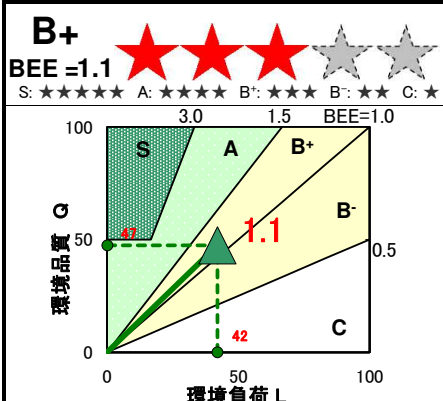
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

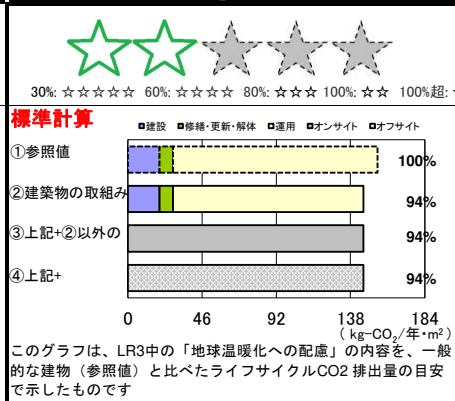
建物名称	(仮称) 淀川区十三本町一丁目プロジェクト	
建設地	淀川区十三本町1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	1,319.06	m ²
建築面積	581.99	m ²
延床面積	6,273.25	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上15階
完了年(予定)	2022年12月	

1-2 外観

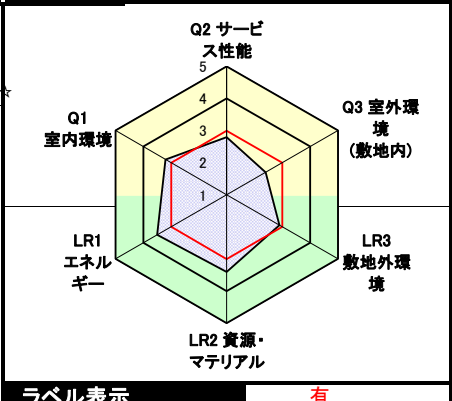
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



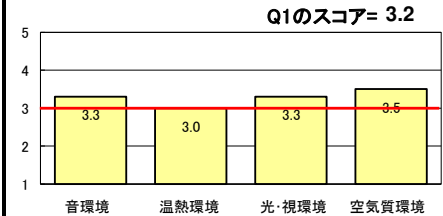
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



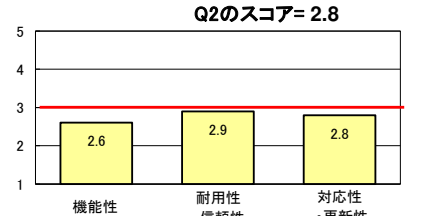
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

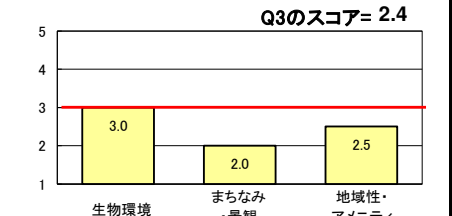
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

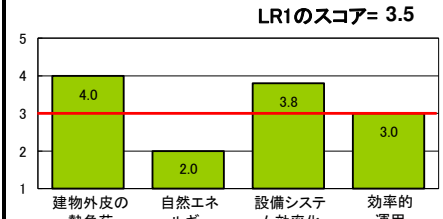


Q3 室外環境(敷地内)

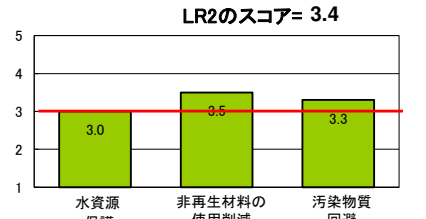


LR 環境負荷低減性

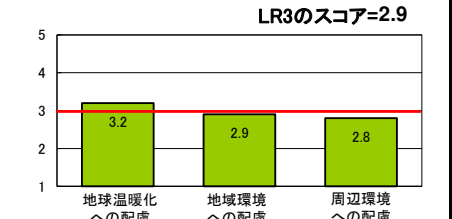
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

断熱材及び高効率機器を採用することで、省エネルギー性に優れた建物としたほか、道路沿いに面して可能な限り緑化を計画することで、周囲に開けた建物となるように配慮した。

その他

特に無し

Q1 室内環境

居住部分の開口は大きく設け、自然光及び自然風を取り込めるように配慮したほか、高遮音性能とすることで、豊かな居住環境を形成した。

Q2 サービス性能

配管材料については耐久性の優れた材料を採用し、性能が長期間にわたり保たれるように配慮した。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地内には可能な限り緑化を設けることで、周囲に開けた建物となるように配慮したほか、植栽付近にベンチを設け、住民が自然と触れ合える環境造りを行った。

LR1 エネルギー

省エネ機器の採用により環境負荷の低減を図った。

LR2 資源・マテリアル

外壁にはGL工法を採用し、将来の更新及び修繕の計画が容易となるように配慮したほか、ODP及びGWPが低い断熱材を採用している。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO₂を低く抑えることにより、長年にわたり環境負荷を軽減し地球温暖化の防止に付与できる建物となるように配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.2
配慮事項	建物内に設置する機器はLEDなどの高効率機器を採用し、運用時の環境に配慮し、発生するCO2を低く抑える計画とした。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	敷地内には可能な限り緑化を計画した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	過半の住戸が断熱等性能表級4を満たす

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.8
配慮事項	BEIm=0.92

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級4（相当） 非住宅部分[BEI][BEIm] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 0.92 住宅部分[BEI] 0.92 非住宅部分[BEI][BEIm] -